

朝礼 校長講話（10月11日）

おはようございます。

こうやって見ると、ずいぶん冬服の子が増えてきました。朝、登校指導をしていてもウインドブレーカーを着ている子も何人かいました。ここ数日、朝晩がめっきり涼しくなりました。涼しくというよりは肌寒く感じます。それにともない、マスクをしている子も多くなったように思います。ちょっとおかしいなどと思ったら、そうやってマスクやうがいや予防したり、早めに薬を飲んだりお医者さんに診てもらったりしてください。

今日は、新聞の投稿欄で見かけたことを少しお話したいと思います。投稿欄って知っていますか。新聞の読者がさまざまなことをその声を新聞社に届け、それが新聞の5、6面あたりに紹介されているページです。先日、そこでこんな投稿があり、目にとまりました。

家族で食事をしている時、私が、
「うわっ、この料理、やばい！」
そう言ったとたん、おばあちゃんの顔が曇りました。

という書き出しから始まるものでした。どういうことか分かりますか。みなさんは、「やばい」という言葉をよくつかいます。そしてそのつかい方を見ていると、「すごい！」というプラスの意味でつかうことが多いようですね。でも、みなさんの周りには先生方やもっと年上の人たちは、そういう意味ではつかいませんでした。例えば、先生も「やばい」という言葉をつかったことがあります。それは例えば、かくれんぼをしていて木や建物のかげに隠れて、声をひそめながら、

「おい、やばいぞ。このままだと鬼に見つかるぞ」

というようにつかっていました。「危ない」「いけない」という意味ですね。少し前までは、「やばい」にはそういう意味しかありませんでした。ですから、この投稿者のおばあちゃんは、自分の作った料理をそんなふうに言われたんだと思い、顔を曇らせたんでしょうね。

このように、言葉は時代とともに変わります。先生は、その変化を否定するつもりはありません。しかし、顔をあわせて話していてもこのように言葉の行き違いがあるのですから、顔の見えない世界、そう、携帯電話やスマートフォン

ンによるメールやLINE、ツイッターや掲示板などではそういう行き違いはもっと多くあります。自分はそんなつもりで言ったのではないのに、相手に間違っ
て伝わってしまう。そんな経験はありませんか。それが原因でお互いが嫌な
思いをしたことはありませんか。

この投稿から、そんなことを考えてほしいと思い、紹介をしました。